



1. 米山梅吉翁の合同墓参

関東にある4学友会会長と学友が4月23日、米山梅吉翁の墓参のため、横浜市鶴見区の総持寺を訪れました。

この合同墓参は2018年に第2580地区（東京都・沖縄県）と第2590地区（神奈川県横浜市・川崎市）が始めたもので、その後、コロナ禍のため中断。今年再開するにあたって近隣地区にも声を掛け、上記2学友会の会長・学友・奨学生に加えて、第2750地区（東京都）・第2780地区（横浜市・川崎市を除く神奈川県）の各学友会会長、第2590地区米山委員2人の計15人が参加し、墓所の清掃と供花、総持寺内の見学をしました。

今回は初めて4学友会の会長が揃って梅吉翁の墓参をしたということで、それ

ぞれがこの奨学事業の始まりに思いをはせ、今後の学友会を活発にしたいという気持ちを新たにしました。



2. 寄付金速報 —ほぼ前年同期比並みで推移—

4月までの寄付金は前年同期と比べて0.3%減（普通寄付金:0.9%減、特別寄付金:0.1%増）、約300万円の減少となりました。ほぼ前年度と同様の水準で推移しています。今年度もあと残り1カ月半です。なかなかコロナ禍以前のよう

に寄付が大きく増額に転じることはありませんが、クラブの例会や地区大会も開催され始め、いったん止まったロータリー活動も再稼働しつつあります。引き続き今後ともご支援賜りますようお願いいたします。

3. 博士号取得状況

2021-22学年度に博士号を取得した奨学生・学友は60人、これまでの累計は3,915人となりました（5月9日現在）。

米山記念奨学会では、博士号を取得した奨学生・学友へお祝いの腕時計を贈呈しています。裏ぶたに氏名を刻印した世界に一つだけの腕時計です。クラブ例会で贈呈することにより、学友との交流再開のきっかけとなるかもしれません。博士号を取得した奨学生・学友がいましたら、当会事務局へご報告ください。

- 奨学期間終了後の取得でも対象です
- お届け先は、原則として世話クラブです
- 完成まで約2週間かかります

申請方法

「学位記の写真」もしくは「学位取得証明書」と、当会書式「博士号取得報告書」の2点を世話クラブから米山奨学会へFAXかメールで送信。
(FAX:03-3578-8281/email: alumni@rotary-yoneyama.or.jp)

時計が
リニ
ュー
アル



文字盤の裏に氏名を刻印

4. 米山がオンラインでつなぐ日本とミャンマー

東京米山ロータリーEクラブ 2750 の活動の一つに「田中作次奨学金」があります。これは、元国際ロータリー会長である田中作次氏の冠名奨学金で、ミャンマーの若者へ教育支援をするもの。毎年行われる現地での面接選考は、ミャンマー米山学友会が協力しています。

4月17日、今年の田中作次奨学生たちとミャンマー米山学友会有志、そして日本のロータリアンや現役米山奨学生が交流する「ミンガラ奉仕デー 田中作次奨学生 日本語CAFÉ」がZoomで開催され、総勢50人が参加しました。進行は日本語とビルマ語で行い、日本語運用レベル別に5グループに分かれ、「日本語を学ぶ理由」などのテーマを決めて交流しました。

主催した東京米山ロータリーEクラブ 2750の肖慧潔会長（東京白金RC）は、「ミャンマー在住の田中作次奨学生にとって、奨学金という金銭的支援だけでなく、実際に日本人や日本で学ぶ留学生と交流することが何よりも大き



な励みになったと思います。私たちのクラブには外国語学習・指導経験のある会員が多く、会員の職業奉仕にもつながりました」と、活動の意義を述べました。

今回の日本語CAFÉは今後も継続的に開催したいとしており、併せて同クラブで開発中の「非漢字圏の日本語学習者のための生活支援漢字アプリ」によって、一人でも多くの日本語学習者への支援を進めていくとのことでした。

5. 大牟田から巣立った日台の懸け橋

1998年から1年間、大牟田RCの米山奨学生だった林郁慧さんは現在、台北駐日経済文化代表処（台湾の日本における外交の窓口機関）で政務部次長を務めています。当時はカウンセラーの圓佛洋右氏と家族ぐるみで交流し、地元のお祭りやイベントに連れ出してもらったのが良い思い出と話します。また、優しく温かい大牟田RCの方々に迎えられ、異国にひとりでやってきた寂しさも乗り越えることができたそうです。



カウンセラーの圓佛洋右氏（右）と林郁慧さん

＜林郁慧さんより＞

大牟田RCでは、さまざまな分野の最前線で活躍されている方々から貴重なお話を聞くことで、特に社会人としての振る舞いや話し方を学ぶことができました。ここでの経験は人生に対する理解や考え方などをとても豊かにしてくれました。

九州大学卒業後、台湾外交部の試験に合格し、台湾と日本の懸け橋になるという当時の目標を叶えました。私はロータリアンに感謝するとともに、今後も米山学友として社会に恩返しして、両国の友好関係をさらに一層促進できるように努力をしていきます。

台湾と日本の懸け橋を目指す米山の後輩たちには、ロータリーの世界で大切にされている「最もよく奉仕する者は、最も多く報いられる」という言葉を胸に頑張ってもらいたいと思います。米山奨学生や学友の皆さん、世界平和のために各分野で一緒に努力していきましょう！